《本書「用語の説明と雑学」より》

ルンバ　(Rumba)

---本来のルンバという言葉はダンスのスタイルに対してではなく、音楽のスタイルに用いられていました。ボールルーム・ダンスとしてのルンバはキューバのルンバではなく、むしろソン(Son ルンバより遅い)やダンゾン(Danzon 更に遅い)からきています。ソンではコーラス部とヴァース部に別れており、ソンのダンサーはコーラス部でのみ踊り、クラベスと呼ばれる打楽器が踊りのムードを高めます(もともとのアフリカでのこの踊りはパントマイムのような物だったかも知れません)。この踊りがキューバからアメリカに渡り、変化の時を経て、今日知られるカップルで踊る官能的なルンバに進化したのです。ルンバは「ロマンスの踊り」とも言われます---(＊1)

---ルンバの語源はスペイン語のルンボ(rumbo)で、大酒盛りをして楽しむ、浮かれ騒ぎ、ばか騒ぎのようです---(＊3)

余談ですが、コンゴ、ナイジェリア、エストニアにルンバという名の町を見つけましたし、インドネシアには、なんと、ルンバルンバという町がありました。

アマルガメーション ＜2＞

ここでは新たに７種類のフィガーを覚えましょう。フィガーの全容は「説明」「写真」そして、「足型図」から把握してください。このアマルガメーションは先の ＜1＞ から続けて踊る事ができます。

細かな注意点や発展形の踊りについては、ルンバ＜4＞を開いてください。

～ ファン・ポジションから ～

(8) フェンシング	(2小節)
(4) (男性右への、女性左への)スポット・ターン	(1小節)
(9) ハンド・トゥ・ハンド	(2小節)
(10) アイーダ	(1小節)
(11) キューバン・ロックス	(1小節)
(4) (男性左への、女性右への)スポット・ターン	(1小節)
(1) オープン・ヒップ・ツイストの1～3歩	(1小節)
(12) プログレッシヴ・ウォークス	(2小節)
(13) ナチュラル・トップ	(3小節)
(14) クローズド・ヒップ・ツイスト または、アドヴァンスト・ヒップ・ツイストからファン・ポジションへ	(2小節)

＊モデル: 富永浩史・千秋先生 (トミナガダンスファクトリー)